

市長に聞く

鹿児島中央駅

～発展を続ける南の陸の玄関口～



市長 森 博幸

■鹿児島中央駅の思い出をお聞かせください。
県外から鹿児島に遊びに来る親戚を出迎えた
り、見送ったりするのは当時の西鹿児島駅でした。
また、初めて長距離列車を利用したのは大学受験
のときでしたから、半世紀ほど昔のことですね。同
級生と一緒に寝台列車にゆられて丸一日ぐらいか
かって東京まで行きました。学生時代に帰省する
ときは飛行機ではなく当然のように寝台列車を
利用していました。

当時は切符を

買い求めるとき

は事前予約制で

はなく、直接窓

口で購入でした

ので、切符を求め

る人の長い行列

ができていまし

た。私も鹿児島

中央駅の広場に

何時間も並んだ

もので、正月など込み合う時期には、防寒対策

をして夜通し並んで、やっと東京行きの寝台列

車の切符を買えた思い出があります。

当時も駅は多くの人でにぎわっていました。

西鹿児島駅から鹿児島中央駅に駅名は変わっ

ても、鹿児島の陸の玄関口であり、いろんな人

とって人生の出会いや旅立ち、交流が生まれる

思い出の場所だと思っています。

■九州新幹線全線開業にともなう鹿児島中 央駅周辺の変化をどのように感じますか。

昨年3月の九州新幹線全線開業に合わせて、

駅ビルや鹿児島中央駅前広場の整備をはじめ、

ホテルや複合商業ビル、オフィスの建設など、

民間主導の開発なども進められ、人の流れ

は格段に増え、まちは活気づいています。官民が

一体となつて鹿児島の陸の玄関口にふさわしい

都市機能の集積が進み、その発展のスピードと



JR九州提供
東京行きの特急「はやぶさ」に乗り込む人々

まちの変ぼうぶりには目を見張るものがあり
ます。

鹿児島中央駅周辺は、まさに現在の鹿児島の

まちの元気を象徴する存在だと感じています。

■鹿児島中央駅や天文館を含めた中心市街 地のまちづくりについてお聞かせください。

鹿児島中央駅はまちの大きな交通結節拠点

です。ここを起点に、天文館地区を含む中心市

街地のにぎわいと活力あるまちづくりを進め

ることが本市発展のために重要です。

本市では、これまで鹿児島中央駅に近い甲突

川の右岸・左岸緑地に、観光交流センターや歴

史ロード[※]、維新ふるさと道[※]を、天文館では清

滝川通りの遊歩道整備を行ったほか、テンパー

ク通りには、芝生を活用した緑化整備などを

進めてきました。

これからも、南の陸の玄関口・鹿児島中央駅

に降り立った皆さんが、中心市街地の天文館を

通り、海の玄関口・鹿児島港にあるウォーター

フロント地区や桜島まで、ゆつくり散策しなが

ら、本市の自然・歴史・文化・食など多彩な魅力

を楽しんでいただける回遊性のあるまちづくり

をさらに加速させてまいります。

鹿児島を訪れた皆さんを、おもてなしの心で

お迎えし、「また、訪れたい。」と思っただけ

のような個性と魅力あふれるまちづくりを、市
民の皆さまとともに一緒に取り組んでいきたい
と考えています。